

兵庫県民間病院協会会報

2010

5

平成22年 通巻471号

目次

巻頭言	（社）兵庫県民間病院協会 副会長 吉田 静雄	1
理事会報告		2
医療維新	（社）兵庫県民間病院協会 副会長 馬殿 芳郎	4
随筆		
我が内なるモンスター	（社）兵庫県民間病院協会 理事 市原 紀久雄	5
随筆	（医）一誠会 大原病院 専務理事・事務局長 大山 現道	8
石仏と赤いよだれかけ		
	特別医療法人敬愛会 三田温泉病院 看護部長 西 良 ユキ子	10
社団法人兵庫県民間病院協会 創立 40 周年記念特別講演会・祝賀懇親会を開催		11
支部通信（神戸・東阪神・西阪神・東播・西播）		19
お知らせ		26
協会だより		26
特定疾患医療受給者証更新交付申請手続きの開始について		27
全日本病院協会兵庫県支部だより		28
兵庫県病院協同組合だより		29
兵庫県病院厚生年金基金だより		31

（題字は井戸兵庫県知事）

随筆



(医)一誠会 大原病院

専務理事・事務局長 大山 現道

1. 人財、人材、人罪

「人」は掛け替えのない財産をつくりだし、社会へ貢献し、様々な組織の基盤となるものを作り出す事ができます。しかし一方で、決して消すことのできない大きな傷を与えてしまう事もあります。

私は、人と接するにあたって自分の在り方について考え、少しでも人の役に立てていけるよう、日々心掛けています。

私が人生の中で最も楽しみに、そして大切にしているものは、人との御付き合いです。幸いなことに、私は今までに多くの素晴らしい方々との出会いに恵まれました。

今日の社会では、人付き合いが苦手、面倒だと思われている方もおられるとは思いますが、先ずは、相手へ思いやりの心を持つという事から始めてみてはいかがでしょうか。

先日、友人が外食好きな私の為に、お勧めのお店を紹介してくれました。私はそのような場合、できる限り次の日にはお店へ御邪魔させて頂くように心掛けています。

そうすることで、お店の方にももちろん喜んでもらえますし、何よりも紹介してくれた友人の顔を立てる事ができます。

傍から見れば小さな事かもしれませんが、相手に対してのこのようなちょっとした心配りが、長く御付き合っていく上で何よりも大切だと考えているからです。

また、そのお店に何度も足を運んで行くうちに、今度はお店の方とも顔馴染みになり、そこからまた人脈（人の輪）が広がっていくのです。

私自身は、特にこれといって人様より長けた能力があるわけでは御座いませんが、今まで多くの方々と知り合う機会に恵まれ、お互いが尊敬でき、心から分かり合える友人をたくさん持つことができました。

今の自分があるのは、私を支えてくれている全ての人のおかげなのだと思います、そのような素晴らしい方と出会えた事を幸せに思い、一人一人に心から感謝しております。

それが私の人生における宝、すなわち掛け替えのない財産となっています。

2. 心を吹き込む

一般的にお金は使うものと言います。しかし、私は人もお金も生き物であり、「使う」という言葉は相応しくないと思います。

今日まで、お金がいてくれたからこそ成し遂げられた事、経験できた事は数え切れません。お金に対して常に感謝の心を持ち、支払の際には「行ってこい。友達を連れてまた戻って来いよ。」と心の中で呟いております。

人はお金のことばかり考えていると、いつの間にか逆にお金に振り回されるようになってしまいます。

人との関わりを大切にしたい。そう願うことによって、自ずとお金に対する感謝の気持ちも感じられるのではないのでしょうか。

3. 最後に…

『成功者は見えない価値に投資する』と言われますが、もし、私にその可能性があるなら、

それは人との繋がりや、夢にかける情熱が熱いからではないかと思います。経営者としての一番の喜びは、お金儲けでは無く、『人に投資し、人が育ってくれる』事なんです。景気が悪くなくても『リストラ、減給』だけは絶対に避けるべきです。可能なら逆に《昇給》をさせ、『人の∞なる可能性投資』したいものです。